

# TAMIS BLOC タミーブロック®

## タミーブロックとは

透水性を持ちながら断熱体としての特性が損なわれない。こんな夢のような素材を求めて生みだされたのが「タミーブロック」です。「Tamis (タミー)」とはフランス語で「ふるい」を意味します。軽量で腰のある耐圧縮性にすぐれた土木資材として数々の用途があります。



## タミーブロックの特徴

- 連続した空孔を持っており、高い透水性があります。
- チップ自身の吸水性は無いので、水はけ性は良好です。ブロックの中には、ほとんど水は残りません。(0.031~0.038kcal/mhr°C)
- 水の抜けたあとの断熱性は、通常の発泡ポリスチレンと同程度に良好です。
- 通常の発泡スチロールと同様に、ニクロム線、のこぎり等で簡単に切断加工できます。
- 本製品は接着剤等使用せず、チップ同士の自己融着で形状を保持しているので加工取り扱い作業はクリーンに行えます。
- 木毛板と同様の吸音性があります。

## タミーブロックの用途

### 凍害対策として

#### ※凍害の起こるメカニズム

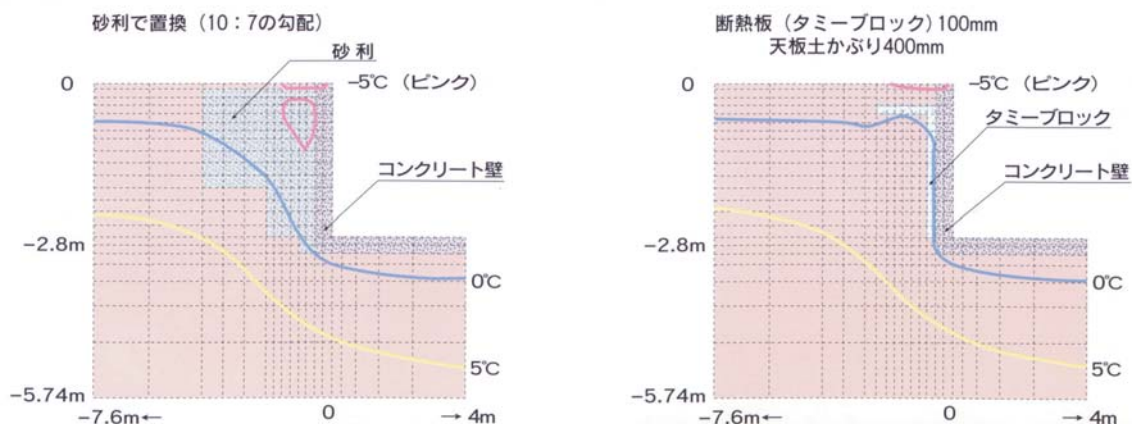
まず地表あるいは壁面が冷やされ、そこに含まれていた水が凍ると、それに隣接した場所が乾燥状態になり、その隣、あるいは下から水を吸いよせ、さらにその水が凍る。水の補給が充分であれば、氷は成長を続けて凍上が起こる。凍上を防ぐための材料の要求されるポイントは

- ①毛細管現象を起こさない遮水性
- ②冷気を伝えない断熱性
- ③上からの水は下に重力で逃がす透水性
- ④土圧に耐える耐圧縮性

などであり、このような条件を満足する材料を使えば、凍害は防げる。

#### ※シュミレーションによる凍結深度の予測

通常の裏込砂利を使用した擁壁と、タミーブロックを裏込と天板に入れた場合の凍結の入り方の違いを、札幌地区の気象データを使用した2年間シュミレーションを行って比較した。



## タミーブロックの特性表

品番	TB-40	TB-70		
密度	kg/m <sup>3</sup>	26	14.6	
空隙率	%	18	17	
曲げ強度	N/cm <sup>2</sup>	JIS A 9511	18.6	4.2
降状点に於ける圧縮強度	N/cm <sup>2</sup>	JIS A 9511 ※5%歪にほぼ相当	10.8	4.6
10%歪に於ける圧縮強度	N/cm		12.8	5.6
透水係数	cm/sec	JIS A 1218	0.1	0.1
熱伝導率	W/m・K		0.036	0.044

板状にスライスする場合の最小厚さは50mmです。(表の数値は代表値であり保証値ではありません。)

## 凍害対策の使用例

### ■凍結深度計を使用しての試験例



凍結は25cm

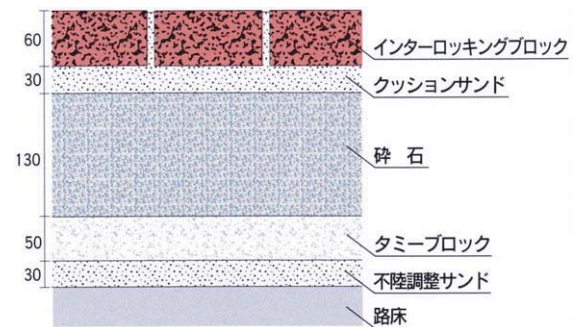


通常の歩道：凍結は70cm

### ※凍結深度計

透明管のメチレンブルー（試薬）を混入した水を地面の中に埋めておく。水は不純物を排除しながら凍結するため、凍った時が白くなる。

### ■歩道凍上対策施工例



### ■農業用水路の凍害対策

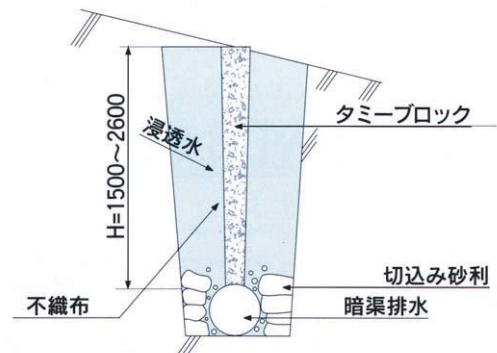


## ドレン材としての使用例

### ■地下室の浸透水対策と外断熱工法



### ■伏流水対策施工例



製造元



玉井環境システム株式会社

〒047-0261 北海道小樽市銭函3丁目524-11  
tel 0134-62-1500 fax 0134-62-1504  
E-mail info@tamai-k.co.jp